

世界中アイスランド

『世界中アイスランド』

伊地知克介

登場人物 男8人、女6人

登場人物

現代、日本（下コハ島郵便局）

分部 わけべ）正樹 郵便局員
局長 郵便局長
石島 春 漫画家志望の高校生
石島 隆彦 パッションフルーツ農家
石島 未来（みき） 隆彦の妻
牛島 さつき 未来の姉、「アイランドテレビ」
のりポーター
弥生 郵便局員。イカ乾燥機アーティスト

世界中がアイスランドのような時代（氷河期の終わり）

バンニン 氷ルモノ」たちからはぐれた男
ガール 氷ルモノ」たちからはぐれた女

「ウバウモノ」155 男たち

舞台は①2018年のトコハ島にある郵便局とその周辺②世界中がアイスランドのような時代のバンニンのすみかを行き来する。

舞台は二つの世界が混ざり合って構成される。①の世界は郵便局のカウンターがあり、自転車やバイクが止められている現代のトコハ島の港近くの風景。②の世界を象徴するのはマンモスの骨。その肋骨の部分に動物の毛皮をかけて、バンニンはすみかにしている。肋骨は完全に覆われていない。

バンニンとガールが登場。2人は石器時代の人類の姿。2人は足で線を引きながら歩く。バンニンの後をガールが歩く。バンニン、ガールを止め、自分たちが引いた線を確認する。

ガール シャア？
バンニン シャア。

2人、再び、線を引きながら去る。春、隆彦、未来が登場。

春 私は忘れないだろう。パッションフルーツの畑で一斉に咲いた花

が、風に揺れている。畑の間を貫く長い道を、島を東西に貫く道を、時計の形をした花を風で左右に傾けながら、遠くからバイクが走ってくる。私の運命が書かれた手紙をその人は運んでくる。

隆彦　ぶーちゃんのバイクか。

未来　きつとそうね。

春　早く来ないかな。

間

春　遅いぞ。止まってる？あのバイク。

未来　そんなことないよ。

隆彦　近づいてきてるさ。

間

未来　着いた？

隆彦　バイク止めた。階段上ってくる。

春　ぶーちゃん、早く

間

分部　（はあはあ言いながら登場、手紙を春に渡す）はい。

春　（受け取り、背を向けて開封して読み、泣きそうな顔で振り返る）

未来　どうだったの。

隆彦　まだ一般入試もあるんだし。

未来　えっ。

春　違うの。合格したのよ。4月から、大学生！

未来、隆彦ショックを受ける。

春　喜んで。ぶーちゃん、喜んで。

分部　よかったね。春ちゃん。

春　一緒にバンザイして。ね、お父さんもお母さんも、ぶーちゃんも。ね。バンザイ、バンザイ、バンザイ。

4人、バンザイをする。その間、隆彦と未来、泣き出す。

春　泣かないでよ。母さん。なんで泣くの。

未来 一人暮らしでしょ。一人暮らしするんですよ。
春 そりゃ、ここから京都は通えないもの。

未来 一人で暮らしていると、悪いやつが入ってきて殺されるでしょう。
春 そんなことめったにないよ。

未来 あなた家族とぶーちゃん以外、人と話さないじゃない。

春 京都に行ったら話すよ。

未来 ぶーちゃん！

分部 はい、僕？

未来 4月から春と一緒に住んで！

春 なんで？

分部 僕がですか？

隆彦 ばかなことを言うのはやめようよ。

春 母さん。

隆彦 ぶーちゃん困ってるじゃない。

未来 一緒に無理なら隣に住んでよ。

分部 僕が島を出ちゃったら、配達する人いなくなっちゃいますよ。

未来 どうせクビになるんですよ。

隆彦 やめなさい。

春 母さん

分部 クビ？

春 母さん、喜んでくれないの。

未来 喜んでるわよ。すごく喜んでるわよ。春はすごく勉強してたし、

頑張ってたの知ってるし。可能性は伸ばしてあげたいし。大学で漫

画が勉強できるところがあるなんてすごいし、推薦で合格するな

んてすごいし。あああ(泣き出し、去る)

隆彦 母さん、母さん(追って去る)

春 ぶーちゃん、ごめんなさい

分部 いや、そんな

春 母さん。混乱してるのよ。うち、子どもあたし一人だからね。

分部 分かるよ。でも、おめでどう。

春 ありがとう。

分部 じゃあ、次の配達あるから。

春 ぶーちゃん

分部 はい？

春 あの、あれ、読んでくれた？

分部 あ、春ちゃんの描いた漫画？

春 うん。

分部 読んだよ。あれ、タイトルはなんて言うの？

春 世界中アイランド

分部 なに、それ

春 涼しそうでいいでしょ。世界中がアイスランドみたいな気候の時代だから。氷河期の名残でまだまだ寒くて。マンモスのいる時代。感想聞きたいな。

分部 あ、面白いんだけど、しいていえばね。

バンニンとガールが登場

春 なんか、まずかった？

分部 言葉がさあ。

ガール シヤア

バンニン シヤアア

分部 登場人物が「シヤア」しか言わないじゃない。あれ、意味が分からないんじゃないかな。

春 言語がまだ発達していない時代の話なのよ。

分部 でも読んでるのは言語がだいぶ発達した時代の人なんだから。たとえば女の子がおっさんを吹き矢で襲う場面とかさ。

ガール、バンニンに吹き矢を向ける

ガール シヤア

バンニン シヤアア

春 シチュエーションで分かんない？女の子が肉をよこせ、って言って、おっさんがふぎけるなって。

分部 わかんないよ。女の子が「親の仇。覚悟」って言って、おっさんが入違いでござる「って言うてるのかもしれないでしょ。普通に日本語でいいって。漫画なんだから。

春 そうかなあー

2人、話しながら去る

ガール 肉をよこせ

バンニン ふぎけるな（自分も吹き矢をかまえる）

2人、にらみあう。ガール飢えて弱っていて、次第に体勢を崩し、倒れる

バンニン なんだ、こいつ。

バンニン、しばらく考えるが、マンモスの肋骨から肉を少し切り取って、ガールに投げてやる。ガール、起き上がって食べる。

ガール　なんで？

バンニン　あ？

ガール　なんで助ける？

バンニン　カルモノ」の女か

ガール　（うなづく）

バンニン　けがをして、仲間に置いていかれたのか。

ガール　掟だ。歩けなくなった者は崖から落とされる。（崖を指さす）

あそこから。

バンニン　親は助けてくれなかったのか。

ガール　親に落とされた。

バンニン　残念だったな。だがあそこから落ちて命があるんだ。まだ運があるな。

ガール　あんたは？ カルモノ」じゃないな。

バンニン　ホルモノ」だ。

ガール　それは？

バンニン　穴を掘って、土の中のものを食べる。木の根とか、蜂蜜とか、運がよければ、眠っているアナグマ。

ガール　聞いたことがある。あたしたちとは違う言葉を話すと。

バンニン　おれは長いことここに1人である。このあたりはカルモノの通り道になることがある。だからカルモノの言葉を覚えた。

おまえ、名前は？

ガール　名前？

バンニン　仲間と一緒に歩いていて、ほかのもののように歩けなくなったとき、彼らはおまえになんていった。

ガール　早く。おいてくぞ

バンニン　名前がないやつもいるんだな。

ガール　え？

バンニン　名前をつけてやる。

ガール　名前

バンニン　ガールっていうのはどうだ

ガール　ガール

バンニン　そう呼ばれたら、返事をしろ

ガール　えっ

バンニン　ガール

ガール　（間）ははは

バンニン　誰が笑えって言った。

ガール ごめん。
バンニン ガール
ガール ははははは
バンニン なんて笑うんだ。
ガール なんがおかしくて。あんたの名前は
バンニン おれはバンニンだ。
ガール はははははは
バンニン はははははは
ガール 笑うな。変なやつだな。
ガール ごめん。はははははは。
バンニン (つられて)ははは

2人、笑い合う

ガール 名前って、おもしろいな
バンニン 来い。
ガール あんたのすみかか。
バンニン すみかってほどのもんじゃないが。
ガール (骨を指して)長い鼻？
バンニン そうだ。長い鼻だ。
ガール 1人で倒したのか。
バンニン そうだ。
ガール すごい。
バンニン (ガールの吹き矢を手に取り)なんだ、これ穴が空いているぞ。
役に立たねえな。新しいの、おれがつくってやるよ。

2人、去る。すれ違いに春登場。洞窟の中になる。

春 (手紙を読む)出せなかった手紙

姉さん。合格したよ。島を出て行く。姉さんありがとう。守ってくれて。いつもこの洞窟で話したね。あそこに古代人の描いた壁画。あそこに古代人のピアノ。古代人のお墓。あの岩の向こうに見える。ない滝。想像をふくらませて。姉さんとあたしだけの世界。言ってくれてありがとう。ここにいていいんだよ。ひきこもってでもいい。他の人と話さなくてもいい。誰かがいじめに来たら、ここに隠れて。あたしが守ってあげる。姉さんだけが味方だった。2人でたばこ吸って、いっぱい話したね。姉さん。あたしは合格した。だからあたしは出て行く。それだけは、はつきりしてる。

春、去る。すれ違いに分部登場。農機具倉庫に。

分部 石島さん、石島さん

隠れていた隆彦、登場

隆彦 悪いな。ぶーちゃん

分部 あ、びっくりした。農機具倉庫に配達してくれなんて

隆彦 悪い悪い。今回だけだよ。もうこんな面倒なこと頼まないから。
で、持ってきてくれた？

分部 もちろん(大きな包みを渡す)

隆彦 ありがとうね。ありがとう。

大喜びで包みを開けると、ベースギターが現れる。

分部 鳴らすんですか？石島さん鳴らすんですか。

隆彦 昔やっててな。

分部 すげえ。ベースギターってやつだ・

隆彦 春がいる前で、楽器弾くわけにいかねえしな。

分部 えっ。

ベースギターを肩にかけ、姿見を運んでくる。

分部 なんで姿見？なんで？

隆彦 ベーシストつてのは、立ち姿なんだよ。

分部 すごいっすね。

隆彦、姿見にかけた布を外し。ギターを持った自分の姿を見る。
そして、若いころの姿との違いに衝撃を受ける。

分部 鳴らさないんですか。ジャーンって鳴らさないんですか。

隆彦、衝撃にうちひしがれ、ギターを置いて、座り込んでしまう。

分部 鳴らさないんですか……。もしかして、ギター、違っていました？

隆彦 (間)いや。ギターは、ギターだよ。おれが、おれじゃない。

2人。見つめ合う。

分部 どう言ったらいいんでしょうね。どう言ったら……。あの……
失礼します。

分部、去る。隆彦、よろよると立ち上がり、姿見に布をかけ、ギターを持って、去る。すれ違いにバンニンとガールが足で線を引きながら登場。

ガール バンニン

バンニン あ？

ガール これは何？

バンニン 聞くな。

2人、マンモスの肋骨の下に座る。氷河の割れる音。

ガール 何の音だ。

バンニン 氷河が割れたんだろう。

ガール なぜ割れた？

バンニン わからん。ひとりでに割れることもあるし、長い鼻が踏み抜くこともある。ときどき割れる音が聞こえる。それだけだ。

ガール バンニン

バンニン あ？

ガール なんてあたしを助けた。

バンニン 助けてもらって不満か。

ガール そんなことはない。でも、あたし、役に立たないから。

バンニン いまは仕方ないさ。

ガール あんたはどこかから、アナグマをつかまえてくる。食べられる草も、食べられる虫も知ってる。蜂に刺されずに蜂蜜をとる方法も知っていて、1人で生きていける。あたしは、役に立たない。いつまでたっても、足は直らないし。

バンニン 役に立つことだけが、役に立つわけじゃないさ。

分部と春登場

分部 こっから恋ですか。こっからラブですか。

春 迷ってて。なんかさ、甘くしたくないんだよね。せっかく氷河期で、ハードな環境なんだから、ハードな話にしたくて。

分部 ハードって、どうハード

春 仮面をかぶった無法者の襲撃とか。

分部 ハードですねえ。

仮面をかぶった「ウバウモノ」1〜5が現れる。バンニンとガールを取り囲み、奇声を上げる

ウバウモノ1 (他の4人を静まらせて)女と肉を渡せ。
バンニン なんだおまえら。カルモノ「じゃないな。

ウバウモノ1 おれたちは

ウバウモノ1〜5 ウバウモノ「だ(吹き矢をかまえる)

ウバウモノ1 命が惜しければ、奪われる前に渡せ。さもないと
全員 奪われ、殺される。

ウバウモノたち、奇声を上げる。バンニン、吹き矢を取り出す

ウバウモノ2 リーダー

ウバウモノ1 あ?

分部 リーダーっていうんだ。氷河期の終わりでも。

春 ほかに思いつかなくて。

ウバウモノ2 こいつ、バンニンだ

ウバウモノ1 なんだと

ウバウモノたち、動揺する

ウバウモノ1 気をつけろ。やつは「悲しみの泥」を使うぞ。

ウバウモノ2 吹き矢に当たると即死だ。

ウバウモノたち、じりじり下がる

ウバウモノ3 (奇声と共に接近して吹き矢を放つ)

バンニン (ウバウモノ3に吹き矢を放つ)

間。ウバウモノ3、苦しみ、倒れる。ウバウモノ2、近づき、死を確認する。

バンニン こいつのようになりたいのか(踏み出す)。

ウバウモノ1 待て。退くぞ。

4人、ウバウモノ3をかつぎ、退場する。バンニン、吹き矢が当たった腕を押さえ、痛そうにする。

ガール 大丈夫?

バンニン ああ。

ガール 「悲しみの泥」って

バンニン 聞くな。

2人、去る。

分部 すげえ、ハードだあ。

局長、登場

局長 何二人でハードな話をしているのかしら。

分部 局長。あの、春ちゃんが描いた漫画を見せてもらってて。

春 あ、すみません。

局長 なんか、ラブとかハードとか聞こえたから、あたしも入れても

らいたくなつてさ。

分部 そんな話ではありません。

春 すみません。

局長 いいの。きょうはしけで郵便物が届かないみたいだから。

分部 あ、やっぱり欠航ですか。

局長 ぶーちゃん、きょうはお休みでいいよ。

分部 いいですよ、何か弥生さんを手伝うことがあれば

局長 あっちもきょうはひまみたい。春ちゃん。合格おめでとう。

春、頭を下げて、去る

局長 私嫌われてる？

分部 春ちゃんですか？

局長 すみませんしか言わないよね。

分部 高校でもそうみたいです。人見知りで。家族と、僕にはな

んか、よくしゃべるんですけど。あ、でもこの間、弥生さ

んと打ち解けてました。

局長 漫画家になるんでしょう。

分部 目指してるんです。

局長 なるといいわね。この島が有名になれば観光客がどっと来

るかも。聖地巡りってやつ？

分部 弥生さんが有名になるとどっちが早いですかね。

局長 アーティスト弥生？あれは200年かかるわ。

分部 でもチューブではけっこう再生されてるみたいですよ。

局長 イカの乾燥機を使ったアート作品って他にないから、注

目されるんじゃないですか。

局長 イカ乾燥機アートじゃねえ。売れないし、場所とるばっかり

だわねえ。本土の郵便局でもカウンターにまつぼっくり

アートとか飾ってたのよ。

分部 あ、いいですね。

局長 弥生ちゃんが持ってきたイカ乾燥機アートを置いたら郵便局狭くなっちゃったしね。しかも弥生ちゃんたまに回転させたいとかいうしね。けが人出ちゃうよ。

分部 局長

局長 ん？

分部 この島、なにかよからぬ陰謀が進行してませんか。

局長 なに、漫画の話？

分部 現実ですよ。どうも変なんです。

局長 何が。

分部 郵便受けです。

局長 は？

分部 みんな、付け替えているんですよ。こう差し込むやつから、(手をまっすぐ伸ばす)こう入れる、金属のやつに(ふたをはずして、上から下にさしこんでみせる)

局長 それがどうしたの。

分部 みんな同じ時期に郵便受けを変えてるってあります？

局長 セールスマンが来たんじゃない。島中回って物を売って歩く人って、たまに来るじゃない。

分部 郵便受けのセールスマンですか。

局長 あんまり聞かないけど、いるんじゃない。

分部 いますかね。

局長 気にしすぎないことよ。仕事に支障ないでしょ。

分部 聞いてみたんですよ

局長 誰に

分部 郵便受けを変えた家で。角の小川さんですけどね。

局長 ああ。小川さん。なんて言ってた。

分部 言葉を濁すんですよ。こうです。いやあ。あはははは。いやあ。

局長 あはははは。ぶーちゃん。あはははは。じゃあね。

局長 すごい濁しかたね。

分部 気になつて。

局長 気にしすぎないの。きょうはお休みにしなさい。

分部 いいんですか。

2人、去る。入れ替わりにバンニンとガールが登場。2人は肉塊を持つている。

ガール ははははは

バンニン 気持ち悪いやつだな。

ガール そんなこと言わないで。ははははは

バンニン さっきから笑えばなしじゃねえか。

ガール だって、ははははは。こんなに簡単に吹き矢でツノアリを倒すのを初めて見たから。はははは。カルモノにいたころ、ツノアリは何度も倒した。大勢で取り囲んで、倒れるまで槍を何本も刺すんだ。バンニン。あんた、はっはは。すごいよ。

バンニン おれがすごいんじゃない
ガール でも肉の塊二つ分だけ切り出して、あとは鳥に食わすなんて、おかしいよ。もっと肉をとりたかったよ。

バンニン それはできない
ガール なんで？ カルモノでは、みんなもっと切り取ってたよ。
バンニン 槍で倒したのなら、それでいいんだ。

ガール 吹き矢はダメなの
バンニン 悲しみの泥を使うときのおきてだ。吹き矢が当たった側の肉は切り取らない。鳥のものにする。そして、そのツノアリを食べた鳥も、つかまえて食べてはいけない
ガール わかった。その肉、どうするんだ

バンニン 凍り穴に入れるんだ。そうすれば時間が経っても食べられる。
ガール すげえ。そんな穴があるんだ（見つけた穴に肉を入れようとする）
バンニン やめろ。それは凍り穴じゃねえ。

ガール そうなのか。
バンニン それは悲しみの井戸だ。近づくんじゃない。
ガール わかった。

バンニン 近づくなよ。
ガール あんた、この井戸の番人なんだね。

バンニン、去る

ガール 待つてよ。もっといろいろ教えてほしいんだ。バンニン寝ないでよ。

ガール、去る。すれ違いに分部登場。

分部 石島さん、石島さん

未来登場。

未来 悪いね。ぶーちゃん

分部 びっくりしましたよ。農機具倉庫に配達してくれなんて

未来 悪い悪い。今回だけよ。もうこんな面倒なこと頼まないから。で、持つてきてくれた？

分部 もちろん(大きな包みを渡す)
未来 ありがとうね。ありがとう。

大喜びで包みを開けると、アルトサクスが現れる。

分部 鳴らすんですか？石島さん鳴らすんですか。
未来 昔やっててねー。
分部 すげえ。かっこいい。

未来、姿見を運んでくる。

分部 なんで姿見？なんで？
未来 サックス奏者ってのは、立ち姿なのよ。
分部 やっぱり立ち姿なんだ。
未来 (姿見の布をめくろうとする)
分部 見る前に、ちよっと鳴らしてみてください？
未来 なんで？

布をめくる。自分の姿をじっくり見る。

未来 いけるじゃん。
分部 いけるんだ。

さつき登場

さつき 未来
未来 姉ちゃん

さつき こんなところで若い男と何してるわけ。
未来 姉ちゃんと一緒にしないで。郵便屋さんにこれを配達しても
らっただけよ。

さつき サックス、懐かしいわね。でもなんで農機具倉庫。
未来 楽器を春の前で吹けないでしょ。

さつき あの子の指、まだ
未来 動くようにはなったけど、ピアノを弾けるほどにはね
さつき 左手だけ？
未来 もちろん。右手は漫画かけるんだもの。

さつき よかった
未来 姉ちゃんこそ、なんでこんなところに。

さつき 春に手紙を渡してほしいと思ってね。
未来 ぶーちゃん。

分部 はい、僕？
未来 はずしてくれない？
分部 はい。次の機会には郵便局をご利用ください。
さつき は？

分部、去る。

未来 何が書いてあるわけ。春の本当のお母さんは私です、って？

さつき 合格おめでとうって。それだけよ。

未来 舟木島では、あれに賛成の人と、反対の人で島が二つに分かれて、いっぱい離婚して、いっぱい再婚しましたって。舟木島離婚っていうんですって。春の本当の母さんも父さんも再婚した相手に子供がいて春を育てられませんでしたって。そういうことを全部書いてあるわけ？

さつき やめてよ。

未来 春は覚えてるよ。

さつき え？

未来 全部覚えてる。忘れてるふりをしているだけ。ピアノのこともそう。あたしを母さんと呼ぶよ。でも本当の母さんの顔は、覚えてる。姉ちゃんがニュースに出ると、目の色が変わるもの。

さつき それは親戚だから。

未来 違う。あれは失ったものを探してる人の目だ。何も言わなけれど、親戚のおばさんだから見てるんじゃない。家族をなくしたことが、心に見えないひび割れをつくってる。あの子、ときどき変なこと言うのよ。

さつき 変なこと

未来 姉さんと話してきた、とか、姉さんにしかられた、とか。

さつき あの子、きょうだいはいない。

未来 空想の姉がいるのよ。島のどこかに隠れてて、あの子を助けてるみたい。

さつき 大丈夫なの？

未来 いまはね。姉ちゃん、顔を見せないで。早く自分の島に帰って。あの子の心に波を立てないで。

さつき わかった。(間)未来、たばこ持ってない？

未来 とつくにやめたわよ。姉ちゃんもいいかげん、やめた方がいいよ。

さつき 大島は、たばこ農家が多いのよ。高校生からおばあちゃんまでみんな吸うのよね。

未来 この島も同じだよ。でも姉ちゃん一応リポーターなんだから、声を大事にしなきゃ。

さつき 帰るわ。手紙、おいてくね。

未来 使用済み核燃料ってさ。

さつき え？

未来 コンクリートのふたの上にさらにふたをして、さらにふたをして、その上にまたふたをしてあるんでしょ。姉ちゃんの言うようにコンクリートが劣化して地上に出てくることがあるとしても何千年も何万年も先だっていうじゃない。なんで、今生きている家族が、それで、そんなことのために。姉ちゃん、おかしいよ。

さつき 千年後や一万年後のことを、考えなくていいわけじゃないよ。私たちが生きてない。

未来 私たち生きてなくても。考えなくていいわけじゃないよ。

さつき

さつき 去る。未来、しばらくサックスを見つめているが、持っ
て、去る。すれ違いに局長登場。

局長 (手紙を読む) 出せなかった手紙。

あなたにおはよう、と声をかけるたびに思います。後何回、おはよう、と言えるんだろう。あなたがバイクのエンジンをかけるたびに思う。あと何回、この音を聞きながら心をふるわせることができるんだろうって。あなたが船に乗るとき、私は泣かないでしょう。あなたに別れを告げた後、私は普通に郵便局の自分の机に戻って、そうね、水をのんだりする。大声で泣きたいけど、たぶんどきない。祖父も、父も、郵便局長でした。私はここを離れられないし、何もできない。心臓や肺が碎けるほど誰かに恋をするということと、責任を持って何かの仕事をするということは、なかなか両立しませんね。人を好きになることは素晴らしいことです。生きているって感じられるし、自分が人間だなんて思える。でももときどき、死ぬほど、苦しいよね。その恋が死んで、地面に埋めるときは、特にね。

局長、去る。

すれ違いにバンニンが登場し、地面に土をかけ、手を合わせる。ガール登場。

ガール バンニン

バンニン いたのか。

ガール ホルモノは変わったことをするね。

バンニン カルモノは、倒した動物の骨はどうする

ガール 捨てるだけだ。こんな穴を掘って、その中に入れるなんて、な

んの役に立つんだ。

バンニン 役には立たないがな。死んだ者は、土の中にいるものだ。
ガール 土の中に。

バンニン おれが死んだらこのあたりに埋めてくれ。

ガール やめてくれ。

バンニン カルモノは死の話をしないんだったな

ガール 人が死んだら、はじめからいないことになる。

バンニン はじめからいない？

ガール 死んだ者は捨て、持ち物もそこに捨てる。すぐにみんな忘れて、はじめからいないことにする。だから、カルモノはだれも死なない。

バンニン それも考え方だな。

氷河が割れる音

ガール またどこかで氷河が割れたぞ。

バンニン そうだな。

ガール バンニンが死んだら、困る。

バンニン そういつてもな。

ガール なんて、みんな死ぬんだろうな。

バンニン わからんな。

2人、去る。すれ違いに局長と弥生登場。トコハ島郵便局の中になる。弥生、大きな箱を抱えている。

弥生 さつき、おときばあさんが持ってきて。なんか息子に送りた
いんですって

局長 何？

弥生 ハブ酒。

局長 ハブ入り？

弥生 道で捕まえたハブを生きたまま入れて4日目。

局長 なんで道で捕まえたってわかるの

弥生 それがさ、私その場にいたのよ。

局長 え？

弥生 金曜日にインド人来たじゃない。

局長 あ、シンさん。マーケットリサーチに来た人ね。舟木島に
なんか店作るって。

弥生 カレーシヨップよ。どのくらい利用者いるか調べるって。わざ
わざ船乗ってカレー食べに舟木島行くもんですか、ねえ。
局長 そのマーケットリサーチとハブがどう関係あるわけ。

弥生 聞いてよ。リサーチで役場に行くっていうから、案内したのよね。そのとき、役場の手前でハブにばったり。道の真ん中によろによる。そしたら、インド人、ヘビ慣れしてて。
ヘビ慣れって。
局長 不思議だね。ヘビを持つとうとして。
弥生 私思わず「ハブ」って言ったのよ。そしたら彼、英語の「ハブ」と勘違いしたのよね。ヘビを持つとうとして。
局長 危ない。それでどう言ったの。
弥生 ドント・ハブ
局長 それで？
弥生 シンさん、手を止めて「なんで」って顔でこっちを見たの。それで私、理由を説明しようと思って。「ハブ」って。そしたら、また持とうと。それでまた「ドント・ハブ」。
局長 毒蛇って英語で
弥生 とっさに思いつかなくて。ドクヘビって言ったけど、通じなくて。あらあ。
局長 ハブ、ドントハブ。ハブ、ドントハブ。繰り返しているうちにやっと思いついて「ポイズン・スネイク、シー・ハズ・ヴェリイ・ストロング・ポイズン」
局長 ちよっと待って。雌だったわけ。
弥生 雄雌わかんないわよ。でも主語がいるでしょうが。それ言ったらシンさん13歳くらい飛び退いたわよ。
局長 話盛ってない？
弥生 そしたら、ときばあさんが、なんでか、ハブ棒持って現れて、変な呪文唱えて、ハブをバーンって。それがこのハブ。その日のうちに焼酎に漬けたって言ってたけど、死んだかね。
局長 そんな2〜3日焼酎につけたくらいで死ぬもんですか。
弥生 死なないの？ハブの辞書には窒息って言葉はないの？
局長 ハブの生命力を見くびってはいけませんよ。
弥生 ということは危険物扱いかしらね。
局長 ちよっと規則を調べてみるわ。もしかすると禁止されてるかもしれない。ハブがいなければねえ。
弥生 (箱から大きなガラス瓶を出す)ありや
局長 あ、良かった。ハブいないじゃない。これなら送れるわ。
弥生 おかしいね。確かにハブ、中にいたのにね。
局長 ちよっと待ってよ。
弥生 さっきは確かにいたのよ。ああ
局長 カウンターの上に避難！

2人、カウンターの上に。

分部が入ってくる。

分部 配達終わりました

局長 ぶーちゃん、カウンターに乗って。

分部 どうしたんですか。(ハブに気づき)ハブ！

局長 早く！

分部、カウンターに乗る

弥生 ぶーちゃんハブ棒！

分部 カウンターから下りないと取りに行けません

局長 下りてはダメ！

弥生 局長、ハブ飛ぼうとしてる

局長 なにか盾になるものを持って

弥生 ハブ飛ぶよ。飛ぶよ。

春、登場

春 なんでそこにいるの

分部 春ちゃん、ハブ

春 ハブ棒は？

弥生 そこ。

春、ハブ棒を手にハブに近づく

局長 春ちゃん、危ないからやめなさい。

春 ハブの神、ハブの神、許してくれハブの神、こうしないと行けないんだ許してくれハブの神、マーミンダバーラー

春、ハブ棒でハブをたたく

春 大丈夫

弥生、カウンターを降りてハブをとらえ、びんに放り込む。

弥生 OK

局長 助かったわ。ありがとう。

春 いえ、すみません。

分部 今のがハブ取りの呪文？

局長、びんを受け取り、持って去る。

春　　ぶーちゃん、漫画、見てくれる？

分部　え、完成したの

春　　まだ。オーロラが出てくるところをどういう風に描こうか決まらなくて。

分部　オーロラ出るんだ。

弥生　素敵ね。

春　　世界中アイスランドだから。でも出し方が難しくくて。オーロラって夜出るものでしょ。でも氷河期の人は夜は寝てると思うのよ。

分部　電気なんかないもんね。

一同　うーん

弥生　不眠症ってのは？

春　　不眠症

弥生　うん、夜、眠れない人ってのはどんな時代にもいると思うんだよ

バンニンとガール、登場する。

ガール　バンニン、バンニン

バンニン　なんだ。寝ろよ

ガール　眠れなくて。

バンニン　そういうときも、目を閉じて横になつてればいいんだ。

間。ガール、住まいの外に歩き出す。緑の光が広がってくる。郵便局の人々も並んで一緒に見入る。局長はやがて、去る。

ガール　バンニン、バンニン

バンニン　今度はなんだ？

ガール　空が燃えてる。

バンニン　そうか。燃えさせとけ。

ガール　緑色に燃えてるんだ。こんなの初めて見た。

バンニン　そういうこともあるだろうさ。

ガール　半端ねえ。(間)どうすりゃいいんだ。

ガール、オーロラを見た興奮をマンモスの肋骨を木の枝でたたくことで表現する。それはやがて、音楽になっていく。

バンニン　ガール

ガール　何？

バンニン　寝ろよ。

ガール、しばらく光を見ているが、光が消えていくのを見て、2人、去る。春、弥生、分部が懐中電灯をつける。

分部 洞窟なんて、怖いですよ。ハブいるかもしれないし。
弥生 何びびってんのよ。それにしても、意外に深いんだね。この洞窟。
春 一番奥までは入ったことないの。いつもこのあたりまで。

3人、あたりを見回す。

弥生 すごいね。ここだけ広くなってんだ。たしかに秘密基地って感じだね。

小学生の時は毎日来てたの。

分部 怖くなかったの。

春 いつもここに座って姉さんとしやべってたの。

分部 お姉さんいたんだ。

春 いない。

弥生 どうして……

春 私が島からいなくなったら、誰もここを知らない。それもちょっと寂しいかな、と思って。弥生さんだったら、こういう場所好きでしょ。

うん。しよつちゅう来るよ。仕事さぼって。

分部 だめですよ。弥生さんが掃除さぼるから、ときどき郵便局の床、ハエとか髪の毛だらけになってるじゃないですか。

あそこに古代人の壁画があるの。

弥生 どう？

ほら正面。牛に見えるでしょ。

うーん。あれは岩の傷だね。人が描いたもんじゃない。

春 あれを描いた古代人はどんな人で、何を考えてたのかな、なんてね。想像上の姉と話し合ってたのよ。バカみたいでしょ。

ナスカの地上絵って、足で描かれたんだって。

分部 宇宙人が足で描いたの？

春 宇宙人じゃなくて、地元に住んでいる人たちが足で描いたっていう最新の研究があるんだって。飛行機から見なくても、地上からちゃんと動物の姿に見えるポイントもあるらしいよ。

新しい地上絵が見つかったって、この間、テレビで。

分部 本当に？

ドローン飛ばしたら、新たに見つかったんだって。

分部 すげえ。

弥生 でも宇宙人じゃないのか。つまらないな。

宇宙人、怖いじゃないですか。
どんだけ怖がりなんだよ。

春 (洞窟の天井を指さし) あそこにピアノ
どこ？

春 ほら、ピアノに見えるでしょ。岩が鍵盤の形になって。

春 あ、ほんとだ。すごい。

弥生 ちゃんと黒鍵もある。

春 あれも、古代の人がつくった楽器なんじゃないかって、空想
してたのよ。押すとちゃんとへこんで、音が出るんだって。石器
時代の女の子が、あそこでピアノを弾いて、このあたりで、家
族がそれに拍手で応える。私の小さいころみたいに。

春 春ちゃん。

弥生 家にピアノあるんだ。

春 ない。(間)舟木島の私の生まれた家にあつたの。あそこには
ピアノ教室があつて。小さいころ習つて。両親は私が弾くと
すごく楽しそうに聞いてくれたの。

春 (間)この島に来るとき、ピアノは、持ってこなかったの。

弥生 持つてこようとしたの。私と同じ船に乗った。でも、すごいし
けにあつて、船に穴が開いた。私はゴムボートに乗せられて助
かったけど。ピアノはゴムボートには載せられなくて。私、ピ
アノが沈まないようにつかもうとした。でも流れてきた木に
手をはさまれて。ピアノは、沈んだの。

春 (間)あれ、弾いてみましょうか。(よじのぼりはじめる)

春 ぶーちゃん。

弥生 やめなよ。けがするよ。

春 大丈夫。(たどりついて指をあてる)へこまないなあ。音出
てます？

春 降りてきて。

弥生 どうですか？

春 えっ

春 どうしたの

弥生 聞こえる

弥生 なんですか

弥生 音。小さいけどピアノみたいな音。聞こえない？

春 うそ

春 聞こえる、ような気がする。

弥生 聞こえる気がする、っていうのは聞こえているのと同じよ

春 そう？じゃ私にも聞こえる。

弥生 ほら

弥生 えー。なんで僕には聞こえないんですか。(ピアノのように弾い

てみせる)

弥生 聞こえる聞こえる

春 うん、聞こえる

分部

えー、なんで。弾いてるのは僕なのに。なんですか、アーティストにだけは聞こえる音ですか。郵便局員にも聞こえる音になってくれよ。

ガールが目を覚ます。起き上がって、叫ぶ

ガール バンニン、バンニン

バンニン うわ、なんだ、なんだ

ガール 夢を見たんだ。

バンニン なんだ。びつくりするじゃないか。

ガール

すごい夢なんだ。聞いてくれ。あたしは少し高いところにいて、低いところにたくさんの人がいた。カルモノでもない、ウバウモノでもない。静かで優しい人たち。男も女もいた。たくさんの人がいて、私を見ている。それだけじゃない。あたしの前に、何があったと思う。

バンニン なんだ。

ガール めちゃくちゃ磨いて磨いて、ぴかぴかになった白い骨と黒い骨

だ。白、黒、白、黒の順にキレイに並んで、まるで、まるで、蜂蜜のように滑らかなんだ。白い骨を押すと、音が出る(押す仕草をしてみせる。音が出る)、黒い骨を押すと違う音が出る(押す仕草をしてみせる。音が出る)。次の白い骨を押すとまた別の音が出る。その音は、ああ、信じられない。ありとあらゆる音なんだ。風の音、雨の音、ハチの羽根の音、鳥の鳴き声、川のせせらぎ、白と黒の骨を押せば、次々に出てくる。あたしは夢中になって、押した。ああ、なんてことなんだ。音と音が混じり合い、響き合って、あたしの指が、指を動かしているだけなのに、世界中のすべての音を作り出していく。ああ、まさか。そんなことがあるなんて。そんなものがあるなんて。

ガール、ピアノを弾く動作。ピアノ曲が流れ出す。この曲の間に弥生、春は退場する。

バンニン ガール、おい、ガール

ガール え？

バンニン 寝ろよ

2人、去る。すれ違いに隆彦、登場。

隆彦

(手紙を読む) 出せなかった手紙。

20歳のおれに。おまえは自分を美しいと思ってるだろう。美しい音を作り出す美しい男だと。ふっふっふ。30年たったおまえのことを想像もしないだろう。想像もできないだろう。自分がどう見えるか。教えてやろうか。知らせてやろうか。いや、知る必要はないだろう。ひたすら美に酔いしれるがいい。そして30年たつて鏡の前に立ち、見るがいい。時間は、誰の上にも、残酷に流れるのだ。見るがいい。ざまあみる。

隆彦退場。すれ違いに局長と分部が登場。

分部

そんなこと言わないでくださいよ。

局長

あなたが今の仕事を好きなのは分かる。でも本土の郵便局には仕事がたくさんある。働きながら夜間の大学に行くこともできるでしょう。あなたの可能性が大きく広がる、

分部

やめてくださいよー。僕はここでうまくやってるじゃないですか。配達が好きなんです。

局長

分かってる。でも

分部

弥生さんや局長と違って島の生まれでないのはその通りです。局長がお母さんの介護抱えているのも、弥生さんが病氣抱えているのも知ってます。でも、本土では、僕はどこの郵便局でも

局長

うまくいかなかった。

分部

この人たちとはうまくいってるんです。みんなぶーちゃんぶーちゃんって気軽に声をかけてくれるし。

局長

今はいいかもしれない。でもいつか、島にすぎたって気づく。

分部

あたしはそういう人を何人も見てきた。

局長

トコハ島にいたんです。

分部

ぶーちゃん、そういうわけには

局長

この間、浜でガスボンベのふたが落ちていたのを見ました。これはいかん。プラスチックは海を汚染する。そう思って拾おうとしました。そうしたら、ふたが逃げたんです。

局長

逃げた？

分部

かがみこんで、よく見て、わかりました。ヤドカリだったんです。小さなヤドカリがガスボンベのふたの中に入っていたんです。このあたり、最近貝が減ったじゃないですか。だから貝が足りなくなつて、そんなものまでヤドカリの巣になってるんです。それを見て、思いました。これは未来の僕だ。配達って仕事から離れてしまった後の僕が、このヤドカリだ。知らないから、他のことはできないから、ガスボンベのふたを担いで、歩き回って。でもき

つと、これが本当の姿じゃないとどこかで思ってるんです。きっと貝の底で眠る夢を見ると思うんです。僕も配達の夢を見て、きつと目を覚まして、ああ、こんなはずじゃなかった、と思うんですよ。

局長　ぶーちゃん。

分部　配達、行ってきます

分部、去る。局長、しばらく物思いにふけるが、去る。

すれ違いにガールとバンニンが足で線を引きながら入ってくる。

ガール　これはなんなのよ。

バンニン　聞くな。

ガール　バンニン

バンニン　なんだ

ガール　あたしたち、いつ子供をつくるんだ

バンニン　何言い出すんだよ

ガール　子供をつくるんじゃないのか。その子供がまた子供をつくって、あたしたち、ふえていくんじゃないのか。

バンニン　そうとは限らないさ。

ガール　ふえないと、あたしたち、へるぞ

バンニン　そうだな。へるな。

ガール　へっでもいいのか。

バンニン　そうだな、わからんな

ガール　わからない？

バンニン　カルモノもホルモノもみんなが増え続けたらどうなる。同じようにナガイハナやツノアリやアナグマが増え続けてくれればいいが、そうとは限らないだろう。いずれ食い物が足りなくなつて、ウバウモノがどんどん増えていつて、お互いに吹き矢で殺しあう世界になるだろう。殺しあうために、もつとんでもないものを作るかもしれない。それなら、静かにへっっていくモノたちがいても、それはそれでいいんじゃないか。そう思うんだ。

ガール　バンニン、あんたの言うことはときどき、わからない。

2人去る。すれ違いに弥生登場

弥生　出せなかった手紙。

拝啓。私の地球へ。あなたが回転するから、すべてが生まれるんですね。回転が時間をつくり、回転が季節をつくり、回転によって星座が変わっていくんですね。私の人生は、閉店した店のシヤッターに貼られた張り紙。閉店中。ずっと閉店中。いつまで

も、変わらない。でもね。何かを回転させることで、なにかが変わる気がするの。回転、開店、開店。世界を動かすために、私も何かしたい。仕事の帰りに自転車に乗って、星座を見ながら、いつも思うの。宇宙にはたくさん星がある。地獄のように暑い星も、アイランドのように寒い星も。私は暑過ぎもせず、寒過ぎもしない、穏やかで優しい、あなたの上において、回転している。私は。あなたが大好き。

弥生、去る

分部と春登場。懐中電灯を持っており、ここが洞窟の中とわかる。分部、ハブ棒を持っている。

春 じゃあ、ぶーちゃんも本土の郵便局に？

分部 絶対、いやだ。

春 なかなか思うとおりに生きられないものよ。

分部 高校生に言われたかないな。

春 きょうはありがとうね。

分部 いや。でも、早く出ようよ。

春 恐がりね。

分部 怖がっているんじゃないよ、春ちゃんとあんまり長く2人で洞窟にいます、なんか、誤解されそうじゃない。

春 されないよ。

分部 そうか？

春 ぶーちゃん、ハブ棒貸して。

分部 ハブいるの？

春 いないよ。恐がりね。

春、ハブ棒を受け取る。

春 ぶーちゃん、見てて。

分部 なにを

春 こうしないといけないの。

分部 なにをするの

春 ひとごころし

春は、ハブ棒をかまえる

分部 ええっ

春 姉の神、姉の神、許してくれ姉の神、こうしないと行けないん

だ許してくれ姉の神、マーマミンダバーラー

春、地面を何度もたたく

分部 死んだ？

春 (うなずく)

分部 (間)行こう

2人去り、未来登場

未来 (手紙を読む)出せなかった手紙

春、春っていう名前をつけたのは私です。姉が子どもを産んだ時、私が 女の子だったら春生まれだから春ちゃんね」って言うて。単純ねって言いながら、姉が呼びやすいって賛成してくれたんです。あなたが漫画を好きなのも私譲りだね。よく大島のブックオフでまとめ買いしようって、一緒に船で行ったわね。私は楽器が出てくるような漫画をあなたに見せないようにしようと思ったんだけど、結局あなたは「だめカンタービレ」とか、そういうのをいつも読んでいて。きっと気づいたのね。才能のある画家は、音を絵に描くことができる。あなたが失った音を絵を描くことで、取り戻せるって。絵を描く人の多くは、求めるものを絵にすることでたぐり寄せようとしているんだわ。ラスコーの洞窟に古代人たちが、太った牛たちを描いたように。春、たぐり寄せなさい。思い切り、自分の手で、失ったものを。(間)でも私は、どうやって、失ったものを、たぐればいいのかしら。

未来、去り、すれ違いに局長とさつき登場。

さつき

(テレビカメラに向けてリポートをしている)トコハ島に来ています。この小さな島、柑橘類とパッションフルーツ、ハイビスカスでいっぱい島と、そこにある小さな郵便局。それが、いま世界中の注目を浴びています。世界で初めての試みが始まるうとしているからです。その試みに使われるのがこれ、ドローンです。(ドローンを見せる)島に届いた郵便物をすべてこのドローンで配達する画期的なシステムがこの郵便局を拠点に起動しようとしています。磁石を使って上空から郵便箱のふたを開け、人間以上に丁寧に郵便物を箱に入れることができます。いまは、船で届いた郵便物はこの郵便局で仕分けされ、島中に散らばった約(おおよそ)600世帯に郵便局のスタッフがバイクで配達しています。これをすべてドローンによる遠隔操作で配達して、むだを省

き、郵便物が素早く家庭に届けられるようになるのです。次世代の郵便配達のかたちが、この南の島から、示されることになるのです。

(リポートのリハーサルを中断して)局長さん、たばこ持ってませんか？

局長 すみません

さつき このへんではたばこ売ってるところないですか

局長 港まで少し戻ったところにトコハ薬局ってところがあって、

そこで売ってます。

さつき 薬局でたばこ売ってるんですか？

局長 とここで、リポートでおっしゃることなんですけど

さつき はい？

局長 600世帯って言ってらっしゃいましたね

さつき 原稿を書いたのは私じゃないんです。

局長 582世帯です。

さつき 細かいですねえ。約「」つけてるじゃないですか。

局長 それと「むだをはぶき」ってところがありましたか

さつき え、何か違うんですか

局長 むだってという表現がどうかと思います。うちのスタッフは今年、熱中症で倒れた独居のお年寄りを2人助けて、表彰されています。うちのスタッフとしか話す機会のないお年寄りには島中にいるんです。

さつき それはわかりますが、でもドローン導入を決めたのはあなた方じゃないですか。

局長 総務省です。私ではありません。(間)失礼します。あ、あなたに会いたいという人が。

さつき え

局長 入ってもらいますね。私はちょっと外で仕事か。

局長、去る。交代で春が郵便局内へ

さつき あ

春 あの、お祝いありがとうございます。

さつき いいえ。たいしたことできなくて。

春 アイランドニュース8(エイト)、いつも見えます。

さつき ありがとうございます。

春 すごいですね。

さつき すごくないすごくない。小さなローカルテレビ局であたしたちリポーターの平均年齢45歳よ。そんなテレビ局、アイランドテレビだけだつて。(間)京都の大学で漫画の勉強する

んだって。

春 漫画学科があるんです。

さつき 卒業したら。帰ってくるの？

春 まだわかりません。

さつき そうよね。まだわかんないよね。

春 でも、帰ってきたいとは思ってます。この島、好きなので。

さつき そう。それはいいことだわ。未来もきつと喜ぶ。

春 じゃあ、失礼します。(出て行くこうとして振り返り)あの、ジプシーの人たちって、人が死んでもお葬式とかしないんだそうです。

さつき え？

春 遺品はすべて捨てる。死んだ人の話はしない。最初からいかなかったことにするそうです。だからジプシーはだれも死なないことになります。悲しむこともない。

さつき それは。ある意味楽ね。

春 でも、そんなのうそだと思っんです。

さつき え？

春 なくしてしまったものを、はじめからなかったことになんてできない。思い出さないとできない。だから私、ちゃんと悲しむことに決めました。ちゃんと思い出して、ちゃんと悲しんで、泣いて、なんでなのって悔しがって、でも前に進んでいく。きつとできる。

さつき (間)たばこ持ってない？って、まさかね……

春 吸うんですか。(ポケットからたばこライターを出して)あげます。もうあと1、2本なんです。

さつき ありがと。(気づいて)高校生だったよね。

春 大学生になったらやめます。たばこか吸わないで、たまに島の言葉とかしゃべって、島育ちの純朴な子みたくしたほうが、男の子にもてるんじゃないかなって。

さつき 島の言葉って

春 びっくりしたときに「ほげー」って言うじゃないですか。本土の子は「平端ねえ」って言うそうです。でもそこを覚えて「ほげー」って。

さつき それって、相手を選ぶかもね。

春 そうでしょうか。

さつき あなた、私に似てるわね。

春 きつとそうですね。

さつき どんな漫画を描いているの？

春 氷河期の終わりが舞台です。氷河の割れる音を聞きながら、静かに暮らしている女と男を描いています。でも幸せな

ことばかりじゃありません。ウバウモノが何度も襲ってくるんです。

さつき

ウバウモノ

春

仮面をかぶった襲撃者。今度は弓矢を持ってる

ウバウモノ1と3が叫びながら並ぶ。ウバウモノ2が弓矢を持っている。

さつき

人類の進化ね

さつきと春退場、交代でバンニンとガールが登場する

バンニン

また来たか。愚か者が

ウバウモノ1

今度は肉と女だけじゃない。悲しみの泥もよこせ

バンニン

やめとけ。これを使うもので長生きしたものはいねえ。い

ずれ後悔するぞ。

ウバウモノ3

うるせえ。今度は吹き矢じゃねえ。

ウバウモノ2

これで勝負だ(弓矢を見せる)

バンニン

新しい道具か。

ウバウモノ2、バンニンに矢を射る。バンニンは衝撃を受けながら前進し、2本射込まれながらもウバウモノ2に吹き矢を打ち込む。ウバウモノ2、倒れる。他の4人、一斉に吹き矢で襲いかかる。バンニンは吹き矢で対抗し、重傷を負いながら全員を倒す。

ガール

バンニン

バンニン

ガール、少し休んだら丘に登るぞ

ガール

あんた、不死身か？

2人、退場。すれ違いに局長と分部が登場。

局長

ぶーちゃん。島の人たちはあなたの可能性を島に閉じ込めたくないって、協力してくれたの。あなたのために郵便受けをかえてくれたのよ。その気持ちに応えて。

分部

僕はここの郵便局に必要ですよ。

局長

もちろん今はそうよ。

分部

配達だけじゃない。弥生さんだけになったら掃除さぼるから、床は汚れ放題ですよ。そんな郵便局みんないですよ。

局長

ルンバ買おうと思って。

分部

ルンバ？またですか。人をモノにかえるの、いいかげんやめましようよ。

局長

もう決まったのよ。

分部

僕はハエですか。僕は髪の毛ですか。声はないんですか。聞いてもらえないんですか。ここにいたいのに、それがかなわないんですか。バイクでいろんなものを届けて、ぶーちゃんありがとうって。配達がすべてでした。中村さんへの郵便を中村さんのところへ、坪田さんへの郵便を坪田さんのうちへ、今喜入(いまきいれ)さんへの郵便を今喜入さんの店へ。それが僕の仕事です。不確かな世界で、たったひとつ確かなこと。郵便が届くことです。配達の仕事を見るでしょう。ガスボンベのふたで時間を過ごすヤドカリが、貝の底で幸せに暮らす夢を見るように。なんで奪うんですか。奪って返してくれないんですか。なんのあたたかさもない世界ですか。氷の世界ですか。世界中アイランドですか。僕はどうしたらいいんですか。

(間)失礼します。

局長しばらくたたくたたくみ、自分の机に戻って、水をのみ、去る。すれ違いにバンニンとガール登場

ガール

(丘から見下ろし)これだったんだな。これだったんだな

バンニン

(うなづく)ああ

ガール

あたしたちは足で、あれを描いていたんだな。

バンニン

そうだ。

ガール

へび、サソリ、ハチ、あれは

バンニン

シャチだ。海にいて、肉を食う。

ガール

海？話には聞いたが、見たことないよ。

バンニン

ガール。お別れだ。

ガール

そんなこと

バンニン

おまえはここにいてはいけない

ガール

あたしはあんたのあとを継ぐよ。あんたが死んだら土に埋めて、あたしがバンニンになる。悲しみの井戸に近づくやつがいたら、へびのように襲いかかってやる。

バンニン

そうじゃないんだ。そうじゃない。おまえがあとを継いではいけない。おまえはバンニンになってはいけない。

ガール

(怒る)なんでだ。あたしがホルモノの生まれじゃないからか。あたしが女だからか。そんなことで決めるのはおかしいだろ。

バンニン

ガール、違う。ガール。そうじゃない。おまえは他のことがで

きる。他のことをするんだ。

ガール 他のこと？

バンニン おまえは「チラスモノ」になれ。

ガール ナラスモノ？

バンニン おまえはアナグマの肋骨や壊れた吹き矢筒で面白い音を鳴らす。そんなことは他の者にはできない。だから「チラスモノ」になるんだ。ここから出る。遠くまで歩け。そして仲間をつくるんだ。美しい音を広げる。世界中に広げる。

ガール そんなこと、役に立たないだろ。

バンニン 役に立つことだけが、役に立つわけじゃないさ。

ガール そうかな。

バンニン いつか、あれを見つけれ。

ガール あれ？

バンニン 蜂蜜のように滑らかな、白と黒の骨だ。押せば、世界中のすべての音が出る。

ガール あれは夢の中にしかないものかもしれない。

バンニン なければつくれ。おまえがつくれなければおまえの子どもが、それでもつくれなければその子どもが。いつかつくれ。

ガール ここはどうするんだ。

バンニン おれのあとは、あいつらがバンニンだ。

ガール あいつら？

バンニン あれは「近づくな」って意味だ。あれを見たやつがどんな言葉をお話すやつらでも、見ればヘビやサソリが描かれていることが分かるだろう。おれたちの子どもの子どもの子どもの子どもの子どもの子どもの子どもの子どもの時代になって、おれたちとはまったく違う言葉をお話すやつらがここにやってきても、近づくなっていう、おれの言葉が伝わるだろう。

ガール そういうのって、なんていうんだ。

バンニン 何？

ガール 顔を見られない相手に思いを伝えるもの

バンニン ここに来たときのおまえと同じだ。名前などない。

ガール じゃあ名前をつけて。あたしにしたように。

バンニン そうだな。(考えるが)思いつかない。名前が必要になれば誰かが思いつくだろう。

ガール バンニン

バンニン さよならだ

ガール まだ

バンニン ガール、さよならだ(去っていく)

ガール、アナグマの肋骨と壊れた吹き矢筒を身につけ、旅支度

をする。そのそばを通りながら、局長と弥生が登場する。

局長 郵便局の隣の空き家を借りたって。

弥生 早耳ね

局長 弥生ちゃん何をするつもり。

弥生 巨大アートに挑むつもりよ。

局長 アートね。なんてタイトル

弥生 残念郵便局

局長 何？

弥生 怒らないですよ。郵便局せつかく有名になったんだから、それにち

なんだアートをつくろうと思って。ネットで呼びかけて世界中から手紙を集めるのよ。残念な手紙。

局長 残念な手紙って

弥生 あるじゃない。出し損なつたラブレターとか、仕事がうまくいか

なかつた言い訳の手紙とか、自分の不満をひたすら書いた手紙とか。そういうのを送ってもらって、片っ端からイカ乾燥機には

り付けるの。そして回転させるのよ。残念さや恨みや、愚痴が地球のように回転するの。きつと話題になるわ。

局長 出せなかつたラブレターね。

弥生 局長も若い頃、一通や二通覚えがあるでしょ。

局長 昨日の夜も書いたよ

弥生 マジ？局長何歳だった。

局長 うるさいわね。年関係ないでしょ。

弥生 海に捨てたとかいうんじゃないでしょうね。

局長 シュレッダーにかけた。

弥生 あきれた。

局長 あたしも貝で暮らす夢を見てるのかな。

弥生 貝で暮らす夢？

局長 トコハ島郵便局の隣に残念郵便局。トコハ島郵便局では世界初のドローン配達。隣の残念郵便局では残念な手紙を募集中。

弥生 どう？

局長 面白いわね。またアイランドテレビ来るかな。

弥生 ぶーちゃんはまだこないの。

局長 うん。そろそろ来るはずなんだけど。逃げたかな、あいつ。本当は春ちゃんと同じ船のはずよ。

春、隆彦、未来が登場。局長、弥生、隆彦、未来はそれぞれ、

春に別れを告げる。

ガール、身支度を終えて、丸木舟をこぎ始める。

春とガール

そして、私は船に乗った。不安と期待でいっぱいだった。風が吹き、波が立った。水の上は身震いするほど寒く、曇り空は恐ろしいほど重く、そして光の予感だけが無限大に広がっていた。

ガール

私はこぎ始めた。世界が私の前に大きく広がり始めた。耳の中で、あの夢で聞いた音が、響き始めた。

ピアノ曲が流れる。ガール去る。

春

私は忘れないだろう。港から見た島は静かで、鳥の鳴く声だけが響いている。地球の未来を描いた漫画はかばんの中だ。パッションフルーツの畑で一斉に咲いた花が、風に揺れている。畑の間を貫く長い道をヤギが横切る。そしてその長い道を、時計の形をした花を左右に倒しながら、一台のバイクがこっちに向けて走ってくる。

春

ぶーちゃん

分部、走り込んでくる。そして、気まずそうに立ち尽くす

春

みんなに見送られるのが気恥ずかしくて、出港直前に来て、船に飛び乗ろうと図った男だったが、結局、単に船に乗り遅れた残念な男になっていた。どういう言葉をかけていいか、分らずに沈黙する人々。そのすべてが、どんどん遠ざかっていく。私の育った島。緑の島。さよならだ。(手を振る)さよなら。

溶暗。幕。

【参考文献】

郵便をゆく(イカロス出版編)

郵便局を訪ねて1万局(佐滝剛弘)光文社新書

郵便局革新(並木雄二)郵研社

漂流郵便局(読売新聞連載)

頑張れ郵便局(千代田経緯研究所)朱鳥社

僕の殺した人と僕を殺した人(東山彰良)文芸春秋

ドローンの哲学(グレゴワール・シャマユール)明石書店

音楽を愛でるサル(正高信男)中公新書

ヤドカリ(有馬啓人)誠文堂新光社

いきものをとむらう歴史(依田賢太郎)社会評論社